

あさみ いせき
朝見遺跡（第6次）

所在地：松阪市和屋町・立田町（まつさかし わやちょう・たつたちょう）
遺跡までの交通手段：道路…名古屋方面から来た場合、国道23号線西黒部町2の交差点を右折し、県道59号線を2～3kmほど南進した辺りにあります。
鉄道…近鉄櫛田駅下車 北西へ約1～2km（徒歩約15～30分）
発掘調査期間：平成27年5月下旬～平成28年2月（予定）
発掘調査面積：計8,446㎡（予定）

位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) [朝見遺跡発掘調査現場](#)

昨年度に引き続き、朝見遺跡の発掘調査を行います！

平成26度、朝見遺跡からは、平安時代の大型掘立柱建物を含む10棟以上の建物群や、祭祀用に使われたと思われる3面の青銅鏡、「平成」と書かれた墨書土器など、数多くの遺構・遺物が見つかりました。中でも、建物群の発見は、これまで建物の所在地や集落内部の様子が全く分かってなかったもので、この遺跡の性格を知るうえで重要な手がかりとなりました。また、青銅鏡は、大溝の水流が弱まったところに並べて置かれていて、水に関するまつりに使われたものと推測できました。こうした鏡が墓や経塚以外の場所から見つかるのは極めて稀なことで、当時の祭祀の様子を知る貴重な発見となりました。

その他、平安時代・鎌倉時代のいろいろな井戸が見つかったり、朝見遺跡の東側が縄文・弥生時代の集落や墓域だったことが分かってきたりするなど、この地域の成り立ちや土地開発の様子を理解するうえでも重要な発見が相次ぎました。

今年度の調査からも、貴重な遺構・遺物などが見つかるのではないかと期待しています。

☆これまでの調査の結果・・・こんなものが発見されています！



平安時代の掘立柱建物

大型の建物の柱掘形は、一辺が約1mの方形で、この時代のものとしては県内でも最大級の大きさでした。



青銅鏡（直径10.5cm）

水辺で水乞いの祈りをささげたのではないかと考えられます。



「平成」と書かれた墨書土器

洪水への平穏無事を祈るために書いたものと思われる。

＜問い合わせ先＞ 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課
担当者：渡辺・石井・中井・今西
電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035
E-mail：maibun@pref.mie.jp